福島県看護協会　郡山支部広報誌

第12号

きらり

記事内容

☆支部長挨拶
☆ 2024 年度活動報告
　「現場でのＡＣＰの取り組み紹介」
☆ 2025 年度活動計画
☆ 2024 年度郡山支部役員紹介

発　行　2025 年 3 月
発行所　福島県看護協会
　　郡山支部
発行者　郡山支部長
　　阿部　初江

郡山支部長挨拶

福島県看護協会郡山支部　支部長　阿　部　初　江

郡山支部は、郡山市・田村市・三春町・小野町を担当させて頂いております。約３２００名の会員の皆様には日頃より支部活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当支部の主な活動は、看護職の教育支援・地域の健康課題への取り組み・看護職次世代育成活動です。特に福島県における「食塩摂取量」「喫煙率」「肥満者割合」「メタボリックシンドローム割合」は残念な結果が出ており、深刻な健康課題となっています。また、高齢化社会の進展による要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズがますます増大している状況にあります。そこで当支部では、一人一人の健康に対する自助力の向上、健康寿命の延伸、いわゆる介護予防を目指した、「まちの保健室」を開催しています。この活動は、地域包括ケアシステムに繋がる自助・互助の第一歩になっていると考えています。また、ご自身の人生の先々を考え、自分らしく豊かな人生を歩めるようにと作られた、郡山版エンディングノート「わたしの未来ノート」の普及活動にも取り組んでいます。

そして、当支部において活動を通しネットワークを拡げ、多くの皆様と共に成し遂げていく喜びと楽しみを感じながら活動できたことを、心から嬉しく思います。特に令和６年度は郡山市３師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）に看護協会郡山支部が加わり４師会となり、地域の保健医療福祉に関する様々な情報共有ができました。また、福島県や郡山市の保健医療介護福祉のイベントや、郡山市の高齢者や福祉関連の会議にも参加させて頂き、地域の保健医療介護福祉の課題とその取り組みについて、理解を深める機会となりました。

最後に、当支部は、今後も地域に貢献できる看護職団体として、活動に取り組んで参りたいと思います。これからの看護界の発展と地域の健康を願い、支部長挨拶といたします。

2024年度活動報告

健康教室

今年度も中央公民館主催で市内在住・在勤の方を対象に市民学校「春の運動講座」が開催されました。看護協会郡山支部は理学療法士の方と一緒に「健康作り」をテーマに生活習慣病予防や健康体操などを行う「春の運動講座」を担当しました。20 名の受講者の皆様と共に、疾患予防の講座と運動の実技を行いました。

１回目　5/16（木）「フレイル予防と貯金の方法」
２回目　5/23（木）「認知症予防と運動」
３回目　5/30（木）「高血圧症と心不全の関係」

まちの保健室

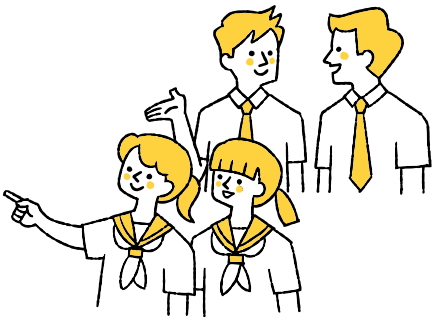
今年度は、市民の皆さんにより近い所で、ＪＡ全農福島 農産物直売所 愛情館入り口広場をお借りし、６月、７月、９月、11 月の第２土曜日９時 30 分 11 時 30 分の合計４回開催しました。12 名の地域看護委員を中心に、初の試みとして理学療法士の方と一緒に活動をしました。

健康寿命を延ばすためには、フレイル予防がとても大事といわれます。今年度は多くの市民の皆さんへ「フレイル」を知って頂き、元気なうちから予防ができるよう、握力を測定し、食事や運動等のアドバイスをしました。少しずつですが常連さんができました。

出前講座

病院で勤務している看護職（保健師・助産師・看護師）が学校の依頼を受けて、学校で講師として授業を行う活動です。（福島県の委託事業）

６月28日（金）	福島県立郡山高等学校	２・３年生
７月　４日（木）	福島県立郡山高等学校	３年生
７月22日（月）	福島県立田村高等学校	１～３年生
７月23日（火）	福島県立郡山東高等学校	３年生
９月　２日（月）	三春町立中郷小学校	６年生
11月　６日（水）	都路小学校	５・６年生
11月19日（火）	ザベリオ中学校	１年生
12月19日（木）	三春町立御木沢小学校	



福島県立郡山東高校では、３年生14名が参加。講師から2020年当時のコロナ病棟入院患者さんからの感謝の手紙を紹介した所、その手紙を書いたご本人が受講しており、奇跡的な出会いに感動しました。また講師からは、「看護職は多くの人たちの人生に関わり、それを通して様々な感情を味わいながら、人間として成長できる仕事」と、看護職の魅力をしっかりと伝えてきました。

ふくしま看護の日イベント

８月３日（土）　会場：イオンタウン郡山おしゃれ館　　参加者：約200名

今年度は商業施設に場所を移動し、看護の日のイベントを開催しました。この活動のねらいは、若い世代に看護職の魅力を伝え、将来の仕事に選んでもらうことです。買い物で訪れた小学生の親子らが、救急蘇生法やユニフォーム試着などを体験し大盛況でした。

リカちゃんリトルナース

８月 17 日（土）ビッグパレットふくしま 多目的展示ホールＡ・Ｂにおいて、福島県が主催となり、県内初のイベントが開催されました。

小学生を対象に､｢人のからだのしくみ｣｢赤ちゃん抱っこ体験｣｢けがの手当て｣｢いのち･救急車｣の４つのブースが設置され、白衣を身にまとった小さな看護師たちが、看護の仕事を体験していました。校長先生は福島県看護協会の佐藤博子会長、先生を看護学生が務め、最後には感動的な卒業式も行われました。今回の体験をきっかけに、将来一人でも多くの参加者が看護師として働いてくれることを期待したいと思います。

保健・福祉フェスティバル郡山 2024

10 月 27 日（日）　会場：ビックパレットふくしま 多目的展示ホールＡ

郡山市が主催となり、141 名の参加がありました。

ふくしま推しの健活フェスタ 2024

テーマ：「みんなでチャレンジ！減塩・禁煙・脱肥満」

12 月７日（土）　会場：ビックパレットふくしま 多目的展示ホールＡ

福島県在住の方を対象に、福島県主催で行われ 145 名の参加がありました。

両日とも、健康相談や介護相談、健康チェックなどが行われ、健康について考える時間となりました。

2024年度活動報告　懇談会　研修会

看護管理者懇談会

８月 26 日（月）　会場：福島県看護会館みらい
講　師：郡山保健所健康政策課 馬場里美課長補佐
テーマ：看護管理者と行政保健師との連携強化～地域の健康課題の解決を目指して～
　講義とグループワークを通して、郡山市の健康課題や連携の大切さを学ぶことができました。

共通研修会

10 月 31 日（木）　13：00 ～ 17：00　会場：星総合病院 メグレズホール
テーマ：あらゆる場面における意思決定支援
講　師：①救急看護：クリティカルケア認定看護師 本田義臣さん 太田西ノ内病院
　　②緩和ケア：緩和ケア認定看護師 千葉久美子さん 坪井病院
　　③在宅ケア：訪問看護管理者 結城 光さん 訪問看護ステーション たっちんぐ
　　④精神看護：精神科認定看護師 柳田亜紀夫さん 針生ヶ丘病院
参加者：43 名
　今年度は、４名の看護のスペシャリストを講師に迎え、シンポジウム形式で行いました。意思決定支援の現場での取り組みについて、講師の方々から貴重なお話を伺うことができました。

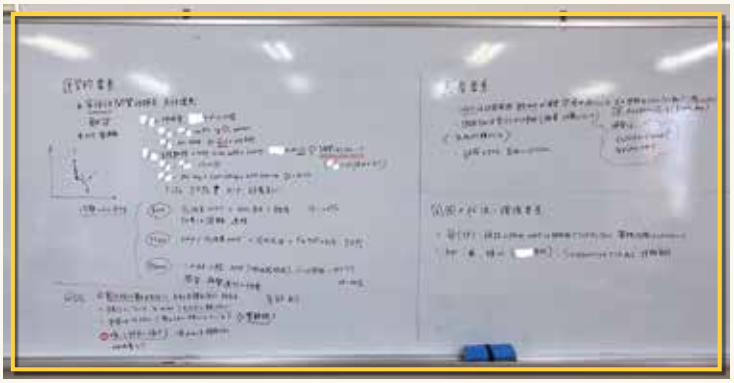
現場でのＡＣＰの取り組み紹介

財団法人慈山会医学研究所付属　坪井病院

当院が専門とする慢性呼吸器疾患は、最終段階において急速に重篤な転機を辿るケースが多く、延命等の治療選好を初めとした Advance Care Planning（以下ＡＣＰ）の普及が望まれています。患者個々人の価値観や信念に沿い、急に意思決定代行を迫られる家族の心理的負担を減らすためです。

昨年、千葉県にある東京ベイ・浦安市川医療センター、救命集中治療部門に多職種計 10 人で施設見学に行きました。同センターの集中治療部門長である則末泰博先生は、急性期場面におけるＡＣＰ実践者として多くの講演をされておいでです。現地の臨床カンファレンスに参加し、Jonsen の臨床倫理４分割法を用いた多職種間でのケース検討・共有の実際を学んできました。

戻ってきた見学チームにより、治療選択の臨床倫理を検討する上で、各々の職種が患者と対話をもち集めた信念や価値観の情報がどのように活かされるか、など報告されました。では、当院の課題は何か、全職域の有志が参加し活発な議論がなされました。かねてより当院は患者と患者の最期についてスタッフが対話をもつ風土が醸成されているものの、共有・可視化が課題であることが明らかになりました。今後多職種で協議しＡＣＰチームを立ち上げるところまで来ました。



公益財団法人星総合病院　星ヶ丘病院

人生の最終段階においては、元気な時からご自身の生き方を考え、語り合うことが重要です。当院では、第一段階として、多くの皆様に「わたしの未来ノート」（郡山版エンディングノート）を知って頂けるよう、外来待合室で紹介しています。また、医療の選択を考えている方、詳しく聴きたい方には、外来看護師がご自身やご家族の言葉に耳を傾けます。意思が表出しやすい環境を整え、語って頂くことでご自身のお考えも整理しやすくなります。

2024年度活動報告　看護研究発表会

2025年２月13日（木）　時間：13:30～16:00　場所：星病院メグレスホール
参加人数：67名（会場 54名・web 13名）

発表演題	施設名	発表者
1．個々に寄り添った看護 ― 在宅酸素が必要となった不安のある患者への関り ―	坪井病院	深澤　遥
2．気管食道科通院患者嚥下障害度と 食の質・精神面への影響を調査する	星総合病院	西間木寿賀子
3．産婦人科疾患患者への退院支援の実態調査 ― 退院支援マニュアルを作成と活用した看護職の意識の変化 ―	太田西ノ内病院	大森絵里香
4．心不全患者への指導の質向上へ向けた病棟看護師の取り組み	星総合病院	佐久間美樹
5．急性期病院における昼夜逆転のある患者に 対するレクリエーションの効果	寿泉堂綜合病院	車田千絵美
6．アルツハイマー型認知症患者の嗅覚を刺激し自立神経に 働きかけたリラックス効果　― アロマオイルを使用して ―	あさかホスピタル	原　涼馬

審査・表彰　受賞者の皆様おめでとうございます！

支部長賞　寿泉堂綜合病院　車田千絵美 様

奨励賞　星総合病院　西間木寿賀子 様

奨励賞　あさかホスピタル　原 涼馬 様

看護の未来を照らす、
実践と研究の架け橋

講義　テーマ：「看護研究にコミットする」
講　師：公益財団法人　星総合病院　ポラリス保健看護学院　副学院長　渡辺美保子　先生

今回は、５施設から６題の演題が発表されました。発表後には、渡辺美保子先生から各演題に対して講評が行われ、先生が話されるアドバイスに対し、熱心にメモを取る発表者の姿が見られました。講評に続いて、渡辺美保子先生から昨年に引き続き「看護研究」をテーマに講義がありました。研究に取り組むことで何を明らかにするのか、どう分析するのかなど演習問題を取り入れながらの具体的な内容となりました。参加者からは、「研究を取り組むにあたっての基本的な話を聞くことができた。」「講義の時間が足りなかった」などの意見が聞かれ、学びの多い充実した時間となりました。

2025年度　事業計画

１．研修事業	共通研修　テーマ：あらゆる場における意志決定支援
２．懇談会	看護管理者（看護部長）懇談会
３．研究発表会	2026年２月予定
４．地域看護活動	地域保健活動：まちの保健室　出前講座　　看護の日支援事業
５．広報活動	『きらり』発行　　支部ウェブサイトに掲載（福島県看護協会ホームページ）
６．組織強化活動	他団体との連携、渉外会議・活動の参加

2024年度　郡山支部役員紹介

支部長
阿部　初江　（星ヶ丘病院）

副支部長
久保木優佳　（星総合病院）
橋本　智子　（南東北第二病院）
河野　千秋　（あさかホスピタル）

書記長
宗形　明子　（太田西ノ内病院）

書記
牛来ひとみ　（寿泉堂香久山病院）

会計
松岡　明美　（寿泉堂綜合病院）
高橋　文恵　（福島県総合療育センター）

教育委員長
馬場　智恵　（太田看護専門学校）

教育委員
田中　啓子　（坪井病院）
荒井志津江　（寿泉堂綜合病院）

地域看護委員長
永山　義弘　（郡山医療介護病院）

地域看護委員
鹿野　佑子　（今泉眼科病院）
佐藤　仁美　（寿泉堂クリニック）
伊藤美由紀　（針生ヶ丘病院）
佐久間優菜　（総合南東北病院）
三本木真理子　（桑野協立病院）
藤橋智恵子　（土屋病院）
渡辺由香里　（福島県総合療育センター）
松尾久美子　（今泉西病院）
山崎　弘美　（坪井病院）
川島　舞　（あさかホスピタル）
神尾　友美　（星ヶ丘病院）

活動の様子や情報を
お伝えしていきます
宜しくお願いします！！